

京成

株主・投資家の皆様へ

BUSINESS REPORT

第173期報告

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで



京成電鉄株式会社

京成ビジネスレポート 第173期報告 CONTENTS

株主の皆様へ	1
事業の概況	2
連結財務諸表	5
特集	8
営業エリア案内	10
TOPICS	11
株式に関するご案内	12
会社の概要／株主情報	13

～京成グループ理念～

グループ経営理念

京成グループは、お客様に喜ばれる良質な商品・サービスを、安全・快適に提供し、健全な事業成長のもと、社会の発展に貢献します。

グループ行動指針

- 安全** 私たちは、安全・安心を第一に行動します。
- 接客** 私たちは、あいさつを励行し、お客様の立場にたって行動します。
- 成長** 私たちは、絶えず自己革新し、新たな価値を創造します。
- 企業倫理** 私たちは、すべての人を大切にし、法令・規則を遵守します。
- 環境** 私たちは、自然環境に配慮し、行動します。

グループスローガン

いろんな笑顔を結びたい 京成グループ

株主の皆様へ



拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ここに第173期(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)の事業概況をご報告するにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、経済対策等を背景に企業収益や雇用情勢が改善していることに加え、個人消費に底堅い動きが見られるなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況の中で、当社グループは、全事業にわたり積極的な営業活動を展開するとともに、より一層の経費削減に取り組むなど、業績の向上に努めたほか、「BMK(ベストマナー向上)推進運動」にも引き続き取り組み、お客様サービスの向上を図ってまいりました。

その結果、全事業営業収益は2,512億4百万円(前期比0.9%増)となり、全事業営業利益は282億3千4百万円(前期比16.1%増)となりました。経常利益は425億7千2百万円(前期比14.5%増)となり、親会社株主に帰属する当期純利益は309億9千7百万円(前期比20.7%増)となりました。

当社グループを取り巻く事業環境は、少子高齢化、国際情勢等の影響により、先行き不透明な状況が続くものと予想されます。当社グループは、平成28年度から新たにスタートさせております中期経営計画「E3プラン」を着実に推進し、事業の中核である運輸業の競争力・収益力をさらに強化するとともに、沿線に密着した堅実な総合生活産業を展開し、地域経済を代表する企業グループの地位を拡充してまいります。

当社グループは、グループ経営理念に基づき、「安全・安心」と、お客様に喜ばれる商品・サービスを提供し、沿線を中心とする地域の発展に寄与してまいります。また、コンプライアンス・リスク管理体制を充実させ、内部統制システムの強化に努めるとともに、常に自然環境との調和に配慮するなど企業の社会的責任の遂行に取り組んでまいります。さらに、お客様第一主義を徹底し、「BMK(ベストマナー向上)推進運動」を浸透させ、選ばれる京成グループを構築してまいります。

株主の皆様には、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

平成28年6月

代表取締役社長

三枝紀生

運輸業

鉄道事業では、安全輸送確保の取り組みとして、高架橋の耐震補強工事等を実施したほか、デジタルATSの全線設置に向けた工事を継続して行いました。

大規模工事については、墨田区内の押上線連続立体化工事において、昨年8月の下り線高架切替によって上下線両線の高架化を完了し、踏切6箇所を廃止して運転保安度のさらなる向上を図ったほか、本年3月に京成津田沼駅の駅舎改良工事が完了いたしました。

営業面では、昨年12月にダイヤ改正を行い、モーニングライナー及びイブニングライナーの停車駅に京成船橋駅を追加するとともに、上りアクセス特急の増発等を行い、お客様の利便性向上を図りました。また、訪日外国人向け総合案内カウンター「スカイライナー&京成インフォメーションセンター」を空港第2ビル駅構内にオープンしたほか、「京成スカイライナー&東京サブウェイチケット」の海外旅行会社等における販売を拡大するとともに、「お客様ご案内用タブレット」を京成線全駅に導入するなど、訪日外国人の利便性向上に努めました。



スカイライナー



スカイライナー&京成インフォメーションセンター



東京駅～成田空港を結ぶ「東京シャトル (Tokyo Shuttle)」

バス事業では、京成バス株式会社が、東京都から「都心と臨海副都心とを結ぶBRT (バス高速輸送システム)」の運行事業者に選定されました。このほか、一般乗合バス路線において、浦安市で「一般路線バス乗継割引運賃制度」を導入するとともに、台東区から受託したコミュニティバス新規路線の運行を開始いたしました。高速バス路線においては、成田空港第3ターミナルの開業に伴い、成田空港発着の各路線において同ターミナルへの乗り入れを開始いたしました。また、首都圏中央連絡自動車道(圏央道)の部分開通に伴い、成田空港発着の一部路線において運行経路の変更による所要時間の短縮や増便等を行ったほか、「東京シャトル」の乗車券を格安航空会社(LCC)機内で発売いたしました。

タクシー事業では、帝都自動車交通株式会社において産前産後等のお客様がいつでもご利用いただけるタクシー配車サービス等を開始し、お客様の利便性向上を図りました。

以上の結果、訪日外国人増加の影響等により、営業収益は1,399億2千2百万円(前期比3.4%増)となり、営業利益は183億5千8百万円(前期比15.3%増)となりました。

流通業

百貨店業では、各種イベントを開催するなど、販売の強化に努めました。

ストア業では、リブレ京成千葉寺店をリニューアルオープンし集客を図ったほか、不採算店舗の閉鎖を行いました。

以上の結果、営業収益は697億5千8百万円(前期比0.5%減)となりましたが、営業利益は11億6千4百万円(前期比9.7%増)となりました。



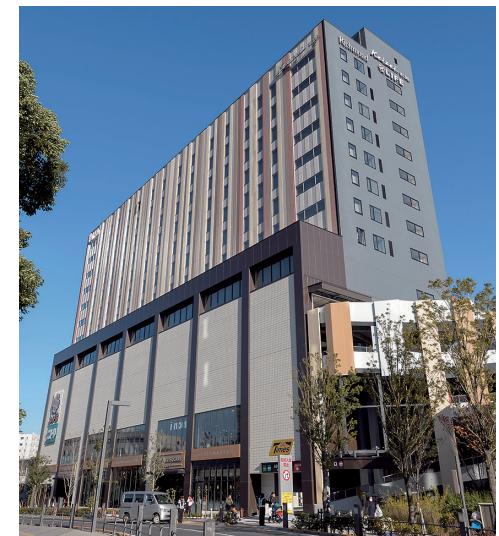
リニューアルオープンした「リブレ京成千葉寺店」

不動産業

不動産販売業では、「サングランデ船橋宮本」及び「サングランデ印西牧の原ドアシティ」の中高層住宅のほか、成田市公津の杜において、住宅用地を販売するとともに、医学部誘致を推進する成田市へ土地の一括分譲を行いました。

不動産賃貸業では、押上本社跡地の商業施設等及び公津の杜等の賃貸住宅が稼動いたしました。また、大田区において賃貸住宅を取得いたしました。

以上の結果、営業収益は220億9千2百万円(前期比1.4%増)となり、営業利益は67億1千5百万円(前期比20.2%増)となりました。



押上本社跡地にオープンした「リッチモンドホテル」とスーパーマーケット「ライフ」

レジャー・サービス業

ホテル業では、宿泊主体型ホテル業を営む新会社の設立に向け、ロイヤルホールディングス株式会社及びアールエヌティーホテルズ株式会社と合併会社設立に関する契約を締結いたしました。また、水戸京成ホテルにおいて客室設備の改修を実施し、新規顧客の獲得に努めました。

旅行業では、各種キャンペーンを実施するなど、集客及び販売の強化に努めました。

以上の結果、営業収益は101億1千1百万円(前期比0.9%増)となり、営業利益は2億8千1百万円(前期比823.6%増)となりました。



合併会社設立に関する契約を締結

建設業

建設業では、鉄道施設改良工事や公共施設工事等を行ったほか、新規受注先の拡大に努めました。

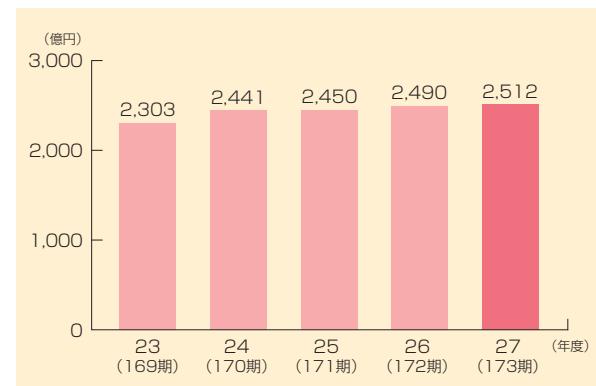
以上の結果、営業収益は249億8千9百万円(前期比7.8%減)となりましたが、営業利益は12億3千7百万円(前期比29.9%増)となりました。



駅舎改良工事が完了した京成津田沼駅

京成グループ決算ハイライト

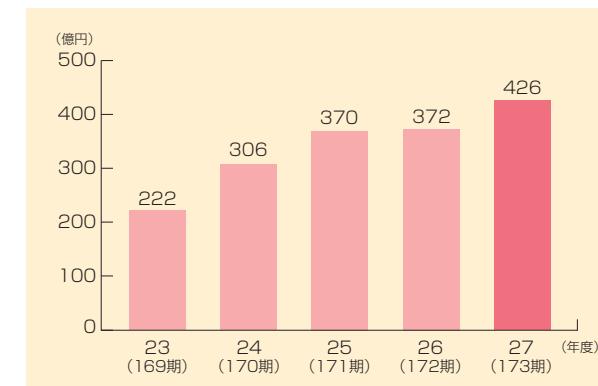
■営業収益



決算のポイント

運輸業における訪日外国人利用者の増加等により、増収となりました。

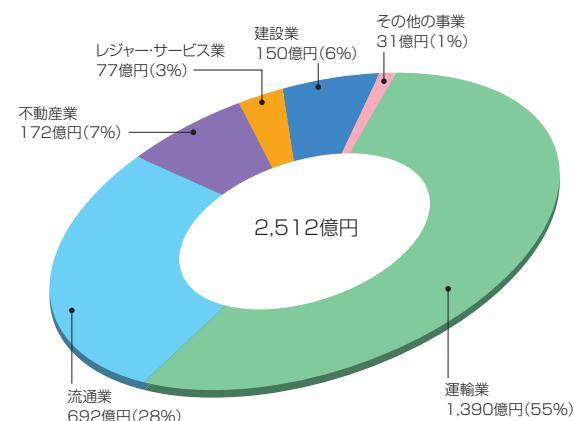
■経常利益



決算のポイント

運輸業の増収及び燃料費の減少等により営業利益が増加し、増益となりました。

■セグメント別営業収益構成比(173期営業収益構成比)



(注)セグメント別営業収益構成比は、外部顧客に対する営業収益の比率を表示しております。

連結対象会社

連結子会社

- 運輸業**：北総鉄道(株)、千葉ニュータウン鉄道(株)、京成バス(株)、千葉交通(株)、千葉中央バス(株)、千葉海浜交通(株)、千葉内陸バス(株)、成田空港交通(株)、ちばフラワーバス(株)、ちばレインボーバス(株)、東京ベイシティ交通(株)、ちばグリーンバス(株)、京成タウンバス(株)、ちばシティバス(株)、京成トランジットバス(株)、京成バスシステム(株)、帝都自動車交通(株)、帝都自動車交通(株)(墨田G)、帝都自動車交通(株)(大森G)、帝都葛飾交通(株)、市川交通自動車(株)、成田タクシー(株)、(株)千葉交タクシー、船橋交通(株)、合同タクシー(株)、西千葉タクシー(株)、かずさ交通(株)、三田下総交通(株)
- 流通業**：(株)京成ストア、(株)コミュニティー京成、(株)水戸京成百貨店、京成バラ園芸(株)、(株)エアエルム京成
- 不動産業**：京成不動産(株)、京成ビルサービス(株)、京葉商事(株)
- レジャー・サービス業**：(株)イウォレ京成、筑波観光鉄道(株)、京成ホテル(株)、(株)千葉京成ホテル、(株)京成エージェンシー、京成トラベルサービス(株)、京成ハーモニー(株)
- 建設業**：京成建設(株)、京成電設工業(株)
- その他の事業**：京成車両工業(株)、京成自動車工業(株)、(株)京成保険コンサルティング、(株)京成ドライビングスクール

持分法適用関連会社

- (株)オリエンタルランド、新京成電鉄(株)、関東鉄道(株)、小湊鉄道(株)、成田空港高速鉄道(株)、東京空港交通(株)

連結貸借対照表の要旨

単位：百万円

科目	当期末 (平成28年3月31日現在)	前期末 (平成27年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	98,839	91,761
現金及び預金	31,665	25,221
分譲土地建物	4,004	7,487
その他	63,169	59,052
固定資産	682,322	690,393
有形固定資産	488,332	508,808
建物及び構築物	270,108	261,731
土地	144,162	143,194
その他	74,061	103,882
無形固定資産	10,027	9,912
投資その他の資産	183,962	171,671
投資有価証券	167,156	155,196
その他	16,806	16,475
繰延資産	117	102
資産合計	781,280	782,257

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

科目	当期末 (平成28年3月31日現在)	前期末 (平成27年3月31日現在)
(負債の部)		
流動負債	200,601	219,553
短期借入金	84,358	83,106
1年内償還予定の社債	10,000	15,000
その他	106,242	121,447
固定負債	284,303	295,081
社債	40,000	40,000
長期借入金	121,589	129,018
鉄道・運輸機構長期未払金	58,140	60,911
その他	64,574	65,151
負債合計	484,905	514,635
(純資産の部)		
株主資本	284,168	255,234
資本金	36,803	36,803
資本剰余金	28,527	28,527
利益剰余金	220,860	191,924
自己株式	△ 2,023	△ 2,020
その他の包括利益累計額	3,674	5,683
その他有価証券評価差額金	3,600	5,113
繰延ヘッジ損益	△ 128	0
退職給付に係る調整累計額	201	568
非支配株主持分	8,531	6,704
純資産合計	296,374	267,622
負債純資産合計	781,280	782,257

連結損益計算書の要旨

単位：百万円

科目	当期 (平成27年4月1日～ 平成28年3月31日)	前期 (平成26年4月1日～ 平成27年3月31日)
営業収益	251,204	249,016
営業費	222,970	224,702
営業利益	28,234	24,313
営業外収益	19,115	18,418
営業外費用	4,777	5,562
経常利益	42,572	37,169
特別利益	23,638	2,148
特別損失	24,357	2,841
税金等調整前当期純利益	41,853	36,477
法人税、住民税及び事業税	8,836	8,166
法人税等調整額	96	1,156
法人税等計	8,932	9,323
当期純利益	32,920	27,154
非支配株主に帰属する当期純利益	1,923	1,471
親会社株主に帰属する当期純利益	30,997	25,683

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

単位：百万円

科目	当期 (平成27年4月1日～ 平成28年3月31日)	前期 (平成26年4月1日～ 平成27年3月31日)
営業活動による キャッシュ・フロー	45,759	48,223
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 19,372	△ 27,606
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 19,922	△ 22,294
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	6,464	△ 1,676
現金及び現金同等物の 期首残高	25,007	26,683
現金及び現金同等物の 期末残高	31,471	25,007

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

単位：百万円

	株主資本				その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る調整累計額			その他の包括利益累計額合計
当期首残高	36,803	28,527	191,924	△2,020	255,234	5,113	0	568	5,683	6,704	267,622
当期変動額											
剰余金の配当			△2,060		△2,060						△2,060
親会社株主に帰属する当期純利益			30,997		30,997						30,997
自己株式の取得				△2	△2						△2
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△1,512	△128	△367	△2,008	1,827	△181
当期変動額合計	—	—	28,936	△2	28,933	△1,512	△128	△367	△2,008	1,827	28,752
当期末残高	36,803	28,527	220,860	△2,023	284,168	3,600	△128	201	3,674	8,531	296,374

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

京成グループ 中期経営計画 「E3プラン」(平成28～30年度)がスタート

当社グループは平成33年度を目標年次とする、京成グループ長期経営計画「Evolution Plan (=Eプラン)」を推進しており、その第2ステップとなる中期経営計画「E2プラン」(平成25～27年度)では、成田空港を利用する訪日外国人及びLCC国内線利用者の需要取り込みを推進したほか、不動産賃貸資産の拡充、財務体質の強化に取り組んだ結果、各数値目標を達成いたしました。

今回、「Eプラン」の第3ステップとなる中期経営計画「E3プラン」(平成28～30年度)を新たに策定いたしました。

「E3プラン」(平成28～30年度)

基本方針	数値目標		
<ul style="list-style-type: none"> ■ 持続的な成長に向けた収益拡大への挑戦 ■ 安全かつ安心なサービスの提供 ■ 経営基盤の一層の強化 		平成27年度 (実績)	平成30年度 (目標)
	営業利益	282億円	280億円以上
	営業利益率	11.2%	11%以上
	経常利益	426億円	440億円以上
	有利子負債残高	3,389億円	上限3,250億円
	(EBITDA倍率)	6.6倍	上限6.1倍
	戦略投資枠		
	中長期的な収益拡大、 及びサービス・安全性の向上に資する投資を対象に、 「E3プラン」期間で最大400億円を設定		

セグメント別戦略

運輸セグメント

- 成田空港輸送の利便性・認知度の向上
- 訪日外国人を中心とした空港旅客の取り込み強化
- BRT事業の円滑な推進
- 都内エリアでの営業力強化
- 観光資源の活用による沿線内外からの旅客誘致
- バス路線の拡充や見直し、車両配置の最適化による収益力強化
- 良質な乗務員の確保
- 安全輸送の徹底とお客様サービスの更なる向上
- 交通弱者の利用機会を創出するユニバーサルデザインの推進



流通セグメント

- ストア業における計画的な出店及び社会構造の変化に応じたサービスの提供
- 百貨店業における効果的な店舗改修の実施と地域でのブランド力を活かした営業展開
- ショッピングセンター業におけるテナントリーシング機能の強化
- 訪日外国人を含むお客様への販売力強化



不動産セグメント

- 収益性の高い賃貸資産の拡充、及びグループ保有資産の有効活用
- 不動産販売業における新規事業用地取得並びに販売力の強化による収益確保
- リフォーム事業の営業力強化による収益拡大



レジャー・サービスセグメント

- ホテル業における宿泊主体型事業への参入
- ホテル業における付加価値の高いサービスの提供と訪日外国人を含む新たな顧客の獲得
- 旅行業における空港利用者を対象とした商品開発の拡充と販売体制等の見直しによる収益力強化



建設・その他セグメント

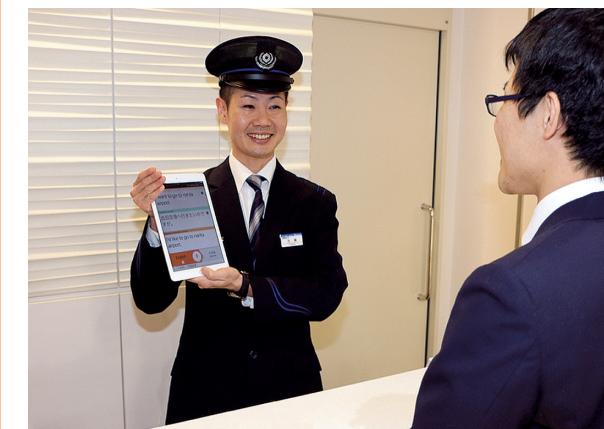
- 建設業における競争力の強化と新規顧客の拡充
- 保険代理業、鉄道車両整備業、自動車整備業におけるグループ内シナジーの強化



TOPICS

さらに快適に駅をご利用いただくために
「お客様ご案内用
タブレット」を全駅に導入

お客様ご案内用のタブレットを平成28年3月31日(木)に京成線全65駅で導入いたしました。このタブレットは、多言語音声翻訳アプリを搭載し、訪日外国人のお客様に対して、多言語でのご案内が可能となるほか、地図や乗換検索、筆談アプリ等も搭載しているため、訪日外国人のお客様との対応時だけでなく、多種多様なシーンに応じて、よりわかりやすく、スピーディーに、そして正確にご案内できるようになりました。



タブレットでご案内している様子

「お客様ご案内用タブレット」の概要

- 導入台数：81台
- 搭載機能：①地図 ②多言語音声翻訳
 ③乗換検索 ④筆談
 ⑤インターネット検索等

特別口座からの振替について

平成21年1月5日から株券の電子化が実施されたことにより、当社を含む上場企業の株券が廃止されております。電子化以降もお手元に株券をお持ちの株主様の株式は、当社が三菱UFJ信託銀行に開設いたしました「特別口座」にて管理されております。

「特別口座」に記録された株式に関しましては、配当金や株主優待を受ける権利など株主様の基本的な権利に支障はございませんが、売却に時間を要するなどの不都合が生じる場合がございますので、**ご本人名義の証券口座への振替**をご検討くださいますようお願い申し上げます。

特別口座に関するお手続きの内容につきましては、以下までお問い合わせください。

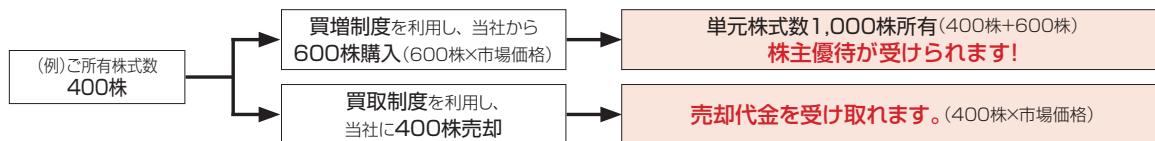
特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社
☎0120-232-711 (通話料無料)

単元未満株式の買増制度・買取制度について

当社の単元株式数である1,000株に満たない株式(単元未満株式)につきましては、株主総会における議決権がなく、株式市場で売買できないなどの制約がございます。

当社では、単元未満株式をお持ちの株主様が、1,000株に足りない数の株式を市場価格にて買増していただける制度(買増制度)及び単元未満株式を当社へ売却する制度(買取制度)を設けておりますので、ぜひご利用をご検討ください。



買増制度・買取制度に関するお手続きの内容につきましては、以下までお問い合わせください。

証券会社にてご所有の株主様

各証券会社

特別口座に記録された株主様

三菱UFJ信託銀行株式会社
☎0120-232-711 (通話料無料)

単元株式数の変更及び株式併合について

当社は、平成28年10月1日をもって、当社普通株式の単元株式数を1,000株から100株に変更するとともに、平成28年9月30日の最終の株主名簿に記録された株主様の保有株式数2株につき1株の割合で併合いたします。

なお、この単元株式数の変更及び株式併合に伴う株主様による特段のお手続きの必要はございません。

●株式併合による影響

株式併合により、株主様が保有の当社株式数は株式併合前の2分の1となりますが、逆に1株当たりの純資産額は株式併合前の2倍となり、株式市況の変動等の他の要因を別にすれば、株主様が保有の当社株式の資産価値が変わることはありません。

●1株未満の端数が生じる場合の処理

株式併合の結果、1株未満の端数が生じた場合には、会社法の規定に基づき、全ての端数を当社が一括して処分し、その処分代金を端数が生じた株主の皆様に対して、端数の割合に応じて分配いたします。

【お問い合わせ先】

単元株式数の変更及び株式併合に関してご不明な点がございましたら、お取引のある証券会社又は下記の株主名簿管理人にお問い合わせください。

「株主名簿管理人」

三菱UFJ信託銀行株式会社
☎0120-232-711 (通話料無料)

会社の概要(平成28年3月31日現在)

創 立	明治42年6月30日
本 社	千葉県市川市八幡三丁目3番1号 〒272-8510 047-712-7000(総務人事部総務課)
資 本 金	36,803,841,088円
発行済株式の総数	344,822,371株
主な事業内容	鉄道による一般運輸業/土地・建物の売買及び賃貸業
営 業 キ 口	鉄道152.3km
車 両 数	鉄道客車582両
駅 数	69駅
従 業 員 数	1,666名

株主メモ

事 業 年 度	4月1日～翌年3月31日
期 末 配 当 金 受 領 株 主 確 定 日	3月31日
中 間 配 当 金 受 領 株 主 確 定 日	9月30日
定 時 株 主 総 会	毎年6月
株 主 名 簿 管 理 人 特 別 口 座 の 口 座 管 理 機 関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 ☎0120-232-711(通話料無料) 受付時間 9:00~17:00(土日・祝日を除く)
上 場 取 引 所	東京証券取引所(第1部)
公 告 の 方 法	電子公告により行う

※ただし、電子公告によることのできない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。

取締役及び監査役(平成28年6月29日現在)

代表取締役社長	三枝 紀生	取 締 役	登嶋 進
代表取締役副社長	平田憲一郎	取 締 役	赤井 文彌
代表取締役専務取締役	小林 敏也	取 締 役	古川 康信
常 務 取 締 役	松上英一郎	取 締 役	眞下 幸人
常 務 取 締 役	齋藤 隆	取 締 役	天野 貴夫
常 務 取 締 役	加藤 雅哉	常 勤 監 査 役	村岡 隆司
常 務 取 締 役	篠崎 敦	常 勤 監 査 役	河上 守
取 締 役	宮島 宏幸	監 査 役	上西京一郎
取 締 役	芹澤 弘之	監 査 役	星 弘行
取 締 役	河角 誠	監 査 役	松山 保臣

ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 配当金の口座振込のご指定につきましては、お手続きは配当金振込指定書を各口座管理機関を経由してお届けいただくこととなりました。従来同封いたしておりました当社専用の「配当金振込指定書」は、同封を取りやめております。振込指定のお手続きにつきましては詳しくは各口座管理機関にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

配当金計算書について

配当金の口座振込をご指定の方と同様に、「配当金領収証」により配当金をお受け取りになられる株主様宛にも「配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受け取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。

●株主優待乗車証発行基準

保有株式数		株主優待乗車証の方式	発行枚数 (6か月につき)	継続保有追加発行枚数
1,000株以上	3,000株未満	回数券式(電車) 1枚1乗車有効	4枚	5,000株以上の各保有株式数を 3年以上継続して保有の場合
3,000株以上	5,000株未満	〃	7枚	
5,000株以上	7,000株未満	〃	10枚	
7,000株以上	10,000株未満	〃	20枚	
10,000株以上	20,000株未満	〃	30枚	
20,000株以上	35,000株未満	〃	60枚	
35,000株以上	50,000株未満	定期券式(電車)	1枚	〃
		又は		
		回数券式(電車) 1枚1乗車有効	60枚	
50,000株以上		定期券式(電車・バス)	1枚	〃
		又は		
		回数券式(電車) 1枚1乗車有効	60枚	

- (注) 1. 左記の株主優待乗車証は、当社線*でご利用いただけます。また、保有株式50,000株以上の株主様に発行する株主優待乗車証(電車・バス)は、当社線*及び京成バス㈱の路線バス(高速バス、コミュニティバス、深夜急行バス、貸切バス等を除く。)をご利用いただけます。
*北総線各駅(新柴又駅~印旛日本医大駅間)では、株主優待乗車証はご利用になれませんので、北総線区間の運賃を別途お支払いください。
2. スカイライナー等にご乗車の際は、別途ライナー券をお求めください。また、深夜バスにご乗車の際は割増分の運賃をお支払いください。
3. 継続保有追加発行は、過去3年間(平成28年5月送付分の場合、平成25年3月31日以降)すべての株主優待権利確定日(9月30日・3月31日)において、5,000株以上を継続して保有し、かつ株主番号又は氏名・住所が継続して同一である株主様に対し、その期間の権利確定日に保有していた最少株式数に応じ発行いたします(相続により名義の方が変更となった場合は対象となりません。)
4. 株主優待乗車証は再発行いたしません(定期券式の株主優待乗車証をPASMOに替えた後、紛失又は障害により再発行する場合を除く。)
5. 他の交通機関への振替輸送のお取扱いはいたしません。
6. 35,000株以上保有している株主様に発行しております「定期券式」の株主優待乗車証につきまして、選択制で「回数券式」の株主優待乗車証60枚を発行いたします。

●グループ会社優待券

1,000株以上保有の株主様に発行

水戸京成ホテル・京成ホテルミラマール	宿泊料金の20%割引・レストラン飲食料金の10%割引	優待券枚数 (向施設共通)	8枚
筑波山京成ホテル	宿泊料金の15%割引	優待券枚数	3枚
筑波山ロープウェイ・ケーブルカー	乗車料金の20%割引・お土産品の10%割引 ※直営店舗300円(税込)以上	優待券枚数	4枚
鋸山ロープウェイ	乗車料金の20%割引	優待券枚数	4枚
京成トラベル	バック旅行3%割引 ※一部バック旅行は4%割引	優待券枚数	4枚
京成バスシステム	旅行代金の500円割引	優待券枚数	4枚
千葉交通旅行社	「ドリームツアー」旅行代金の5%割引	優待券枚数	4枚
千葉中央バス	「ふれあいツアー」旅行代金の500円割引	優待券枚数	4枚
和風ファミリーレストラン「京成友膳」	飲食料金の20%割引	優待券枚数	5枚
京成ローザ [®]	映画館一般鑑賞料700円割引+ソフトドリンクサイズ換券	優待券枚数	5枚
リブレ京成	お買物代金2,000円ごとに100円割引	優待券枚数	20枚
京成百貨店	専用のWebサイト又はお電話での商品優待販売		
京成フラワー	1件2,000円以上のお買物の場合10%割引	優待券枚数	5枚
京成バラ園	「ローズガーデン」入場料金(当日券)の50%割引	優待券枚数	6枚
	「ガーデンセンター」お買物代金5,400円以上で10%割引	優待券枚数	4枚
京成不動産	不動産売買仲介手数料の10%割引	優待券枚数	1枚
	リフォーム工事代金の5%割引	優待券枚数	1枚
京成ドライビングスクール	教習料金最大27,000円割引	優待券枚数	2枚
成田自動車教習所	入学金(普通車)21,600円割引	優待券枚数	2枚
西柏自動車教習所	入学金最大21,600円割引	優待券枚数	2枚
京島ビークルショップ	車検整備コース料金5,000円割引 自動車鉋金・塗装代金の10%割引	優待券枚数	2枚
JALイービーシー	空港宅配通常料金より1個につき300円割引 ※成田・中部・関西・羽田(国際線ターミナル内)の各空港	優待券枚数	5枚
	携帯電話レンタル料通常料金の20%割引・通話料通常料金の10%割引 ※成田・中部・関西・羽田(国際線ターミナル内)の各空港	優待券枚数	4枚
スーパー銭湯「笑がおの湯」	入館料金最大400円割引	優待券枚数	10枚

(有効期限は、優待券に記載のとおりです。)



環境に配慮したFSC® 認証紙と植物油インキを使用しています。